

九月二十



定額二... 昭和七年十月二十日... 常磐毎日新聞社

### 陣中想出話

(十)

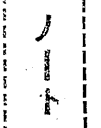
平町出身

歩兵第九聯隊 水野重光  
第三中隊

齊藤特務曹長戦死の状況

吉林東側、松花江右岸には六月以降匪賊の巢窟となり、常に數百の匪賊ありて屢々吉林を脅威して居た。最近はその數約千に及ぶと云ふ。

茲に於て吉林警備隊主力は九月十九日午後八時出發松花江對岸に移り、二十拂曉迄には大河仔吟賓、前石井溝、三道溝嶺吉街の線に展開し、天明を期して其の西方松花江河畔の諸部落を一齊に掃蕩せり。



疊がへの時に、芯と表の間一面ハトロン紙が買物の包紙のやうな大形の丈夫な紙を入れて表をつけて置ますと、埃がたちまぜんし、大掃除のときなどすぐに埃りが落ちて大層氣持ちがよろしうございます。

齊藤特務曹長は第三中隊の第二小隊長として今時討伐には右第一線小隊長として、部下小隊を率い、前石井溝西方標高二一五高地に展開し攻撃前進の時機を待

つ

午前五時、山砲及歩兵砲の射撃開始せらるゝや、同地に於て逃走する匪賊を射撃して、之を撃退す。

午前五時半、砲撃の移動に伴ふて前進を開始し、途中部落を掃蕩しつゝ、午前六時五十分頃、小長屯東北に

【朝】煮豆  
【晝】かきめし...もみのり  
【晚】焼き油揚げ...さから  
秋わかめ白おへ

小長屯北側附近を前進中匪賊約三十、東方線上高梁畑附近に散開せるを知り直ちに小隊を散開せしめ、攻撃前進せり、此の時中隊主力方面は小長屯附近の村落を掃蕩し、約七十の敵を撃退せり、之が爲、敵は北方に退却せるが齊藤小隊の側面に現出せし爲、其の數七、八十となり、小隊の一部を以て攻撃前進せしめたり。

然るに此の附近は約三米位の高粱、一米二、三十位の粟畑にして、且密生し立射に非ざれば、射撃し得ず、撃機關銃は應用射撃に非ざれば、十分なる火力を發揮し能はざる状況なり。然れども特務曹長は自ら拳銃を手にして、絶へず先頭に立ち、部下を誘導し、

攻撃する外、擲弾筒射撃を命じ、猛烈、果敢に前進し敵に肉迫せり。敵は手榴弾を投じて頑強に抵抗せるも尙も屈せず、突撃を命じ、自ら先頭に立ちて將に敵陣に突入せんとするや、不幸右胸部及左前胸部に貫通銃創を受く、特務曹長は拳銃を持ちたるまゝ、兩手にて胸部を押へ、右膝を附き折敷の姿をとりしが、体を支ふる力無く、遂に右に倒れて再び立つ能はず、午前六時十五分壯烈なる最後を遂げられたり。

此の有様を目撃したる部下は直に小隊長を助け起さんと駆寄りし兵ありしが、敵は小隊を目標として尙も手榴弾を投じたり爲に、我兵五名負傷せり。小隊長の壯烈なる戦死を見たる分隊長以下憤然として突撃を續行し、敵陣を突破し一舉に西方に撃退せり敵の遺棄せる死体十五を算す。此の戦は、敵は高粱畑を利用して正面及左側面より小銃弾のみならず手榴弾をも利用して窮鼠反て猫を噛む式の頑強なる抵抗をなせるため、我は戦死一、負傷五を出したる最も猛烈を極めし戦斗なり。

小隊長は此の戦闘間、絶えず卒先頭に立ちて部下の志氣を鼓舞し、自ら拳銃

を以て敵を射殺しつゝ前進し、遂に十數名を殲し、之を撃退したり。其の勇敢なる行動は實に將兵の模範とすべし。

## 外科

専門 X 科線光

上田外科病院

平町南町 電話一二九番

良い寫眞!

最新式設備 新しい技術

寫眞館 サクラ 平町田町驛通り前



玉屋洋品店 平町田町電話六五六番

耳鼻咽喉科専門 氣管食道科 大和田醫院 平南町(電話一七〇番)

## 三五七祝着陳列

子供服 オール子 シヨール 流行シヨール 綿・モメリヤ セ・その他

ツヤルツ 四一電 四平

## 金銀高價買入

質札は(金時計鎖指輪類)有利に御相談致します 平町二丁目(三幸堂跡)

根本時計店 電話六〇七番

### 家庭温泉御案内

日本一の靈湯草津の源泉に化學的操作を加へたる草津湯の素 家庭風呂に外用に! 心地よく温まり絶対に湯冷めせず湯上り気分價千金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上一切の難病を征服する靈湯なり。冷性の方、しもやけ、火傷、外傷、婦人病、痔疾、神經痛、リウマチス、皮膚病、其他一般消毒用として特効あり。 定價 一〇〇瓦入 凡 五分 五十錢 二五〇瓦入 凡 十二日分 一一〇圓 六〇〇瓦入 凡 三十日分 二一〇圓 其他浴場用旅館用大徳用あり。試用分無代進呈いたします。...煙突掃除薬も販賣致します。石炭の御用命と共に是非御使用を御奨めいたします。 海岸線 代理店 石炭商 伊藤軍二商店 平町一丁目電話三四九番 販賣元草津温泉研究所營業部 各町村一ヶ所に限る御申越あれ 特約販賣募集 特に御相談に應ず。

### 磐中問題は

#### 運動打切り

##### 校長の回答を信頼 關内會長聲明

既報磐中問題に關し同窓會にては橋本校長の回答を信頼して母校の刷新改革運動は一先ず打切る事に決定昨日午後五時關内同窓會長の名を以つて運動打切りの聲明をなした

### 一本の道路を

#### 二派で引張り合い

##### 村長の一行が縣へ陳情

石城郡赤井村長白井菊造村議草野三郎兩氏外數名は昨日出縣豫て同村より縣に陳情中であつた同村字赤井より永戸村に通ずる村道開墾工事を同村字高萩より永戸に通ずる様變更せられ度い

郡泉村養豚隊實行組合では來

### 『ボーンナス戀』と

#### 與太は亂れ飛ぶ

##### 市内某校の職員室

##### ストープ會議風景

ボーンナスの月、十二月……今日この頃は市内各官廳、其他のストープ會議の話題はダンゼンこのボーンナスであるが、一番景氣のよいのは矢つぱり鐵道で判任官は十五割よう員は

七割とか、で話をきいただけでもスーとする位である、次は銀行、縣廳で十

る十三日午後一時より同村小學校に於いて役員會を開き役員の改選を行ふと

磐女生の 磐城高 圖書出品 等女學校にては來る十五日より三日間白河高女に於て開催される縣下女子中等學校圖書

### 眞ッ赤な手に

##### 津田校長の温い心遣り

##### シモヤケ療法

平第二小學校にては女兒だけに家庭にあつて炊事や掃除の手傳ひをする爲めから近年シモヤケに悩まされる生徒が多數に上るので今年

校長の温い心遣りから左の如き豫防法及び療治方法を騰寫刷にし一般兒童に配布

△療 法  
よくこする事

△豫 防 法  
一、手をぬらした時よくふく事  
一、手をきれいにしして置く事  
一、シモヤケになる所をよくこする事

ではあるまいか、朝早くから夜おそくまで學校の仕事の外に、中等教員に比して五倍も十倍も餘計に働く小學校の先生に年々タツタ一回のボーンナスがあるのかかの境におかれてあるとは何とまたむじゆんも甚だし

思ふ人が あるとしたら——近代の學校を知らぬ認識不充分の輩と言つてや

記者「人のボーンナスをきい

展覽會に左記生徒の作品を出品する事に決定したと

出品する事に決定したと  
（一年）大塚昭子 橋本キミ 若松キミ 白土ワカ  
（二年）樋口君子 志賀美都子 江尻惠美子 佐伯ジュン  
（三年）大塚澄子 比佐明子 山本マサ 森英子

一、タコをゆでた汁で洗ふ事  
一、シヨウガをにだした汁で洗ふ事  
一、ニガリをあたためてその中に入れる事  
一、アハビの貝ガラを焼きてすてといてつける事  
一、カラスウリユツの實の汁をつける事  
一、センダンの實の汁にたし汁であたためる事  
一、ヘクソカツラの實をつぶしてつける事

### 修身教授研究

平第一小學校にては本日午前十一時より黒木訓導の尋常科第二學年に對する修身教授の批評會を開いた

磐中野外演習 磐城小學校四年生は來る二十八日係教諭指導のもとに好間村上野原方面に於て野外演習を行ふと

ボーンナス論轉じて記者攻撃の幕に移らんとする形勢を恐るうこうとしてストープ會議から脱退して歸社したが今日開く處に依れば賞與の總額は二千三百三圓で昨年より三割増との事で、一人平均五割につくから滿更

當は左記の通りだ  
（第一）九百十圓（第二）九百十六圓（第三）四百七十圓

### 平町人事

回 出 生  
△十五丁目二五 佐藤新之介氏二男 京教  
回 婚 姻  
▽白銀町二 當時東京市杉並區上井草野一五三九吉田素氏（二八）東京市世田ヶ谷區代田豊田實枝（二三）

### 一冊の代金で

御希望通りな  
五冊の雜誌が  
自由に讀める  
川崎 回文庫  
電六三〇番  
（申込次第規則書進呈）

### 貸家廣告

##### 平驛前目抜の場所

##### 二階建一棟七十坪

（御相談に依つては分割貸も致します）  
家賃其他委細面談  
平町五丁目吉田屋染物店方吉野へ

### 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
内科小兒科 平町田町 電話五一三番  
外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

### 市原醫院

平町田町（電話一一四番）  
内科、小兒科 市原卯太郎  
外科一般、婦人科 市原陸郎  
外科、梅毒、淋病 市原三三男  
入院隨時

# 松岡全權から

## 濱三郡教育會へ 感謝の電報來る

### 唯微力を致さんとて

濱三郡教育會では過般の聯合總會に於いて既記の如く現在世界の視聽を一身に蒐め帝國の興亡を賭する大任を双肩に荷ひ必死の奮闘裡に終始しつゝ在る帝國全權松岡右氏に對する感謝と激勵の打電を滿場一致で可決直ちに在シエネエの松岡首席全權宛に打電したが此れに對し今九日午前十時同全權から次の如き感謝電報があつた

御懇電深謝す、同僚全權等の驥尾に附し、唯微力を致さん事を期す (帝國全權松岡洋右)

## 三阪村に早くも

### 五寸の積雪

#### 連山に綿帽子 愈よ嚴冬來!

石城郡澤渡三坂の山間部落には去る七日以來降雪あり澤渡村三寸、三坂村五寸の積雪を見て郡下に於ける初雪とされたが湯の岳から二矢山、赤井嶽等何れも山頂に綿帽子を冠り嚴冬の感

## 悪桂庵の手引か

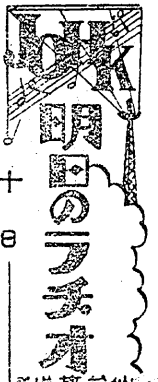
### 十七娘の置手紙

平町舊城跡一二矢島トリの長女イッ(七)は去る四日他郷で就職口を探すが書置を無し無断家出したが悪桂庵の手引があるらしいからと本日半署に搜索方を願出た

## 被害者へ

### 同情熱烈

水産會の義金 既報石城水産會で過般の暴風雨の爲め犠牲となつた五



明日のラジオ  
報豫氣天  
西の風小雨模様

## 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間  
童話劇「達谷篇」五五子供會  
後七、三〇 國際時局特別講座(其四)一日支問題に對する各國の輿論「國際

聯盟協會主事赤松祐之  
後八、〇〇 放送映畫劇「隱密七生記」活時代劇部  
後八、四〇 俳諧「博多節お秀外  
後九、〇〇 忠臣藏花曆第九「和洋合奏」富士絃管樂

遠く長野、香川の地方よりも申込み相次ぎ被害者への同情頗る熱烈なものがある茨城、山形、東京方面から

## 二百餘貫の鐵製

### 原動器に押潰さる

當時石城郡湯本町字天王崎居住宮城縣伊具郡丸森町生れ日雇業佐藤三左衛門(五)は八日午前九時頃湯本町天王崎運送店永山義盛方にて積荷作業中目方二百餘貫の

鐵製原動器が荷車から落下其の下敷となつて無慘な壓死を遂げ平署から係官出張検視の上で死体は家人に引渡した

## 夫に死別して

### 發狂投身自殺

深さ廿餘尺の井戸へ

平町新町三二猪狩ミツエ(三)は三年前夫と死別して以來精神に異常を呈し實家の飯野村字矢川瀬に戻つたので家人が監視中昨八日午後三時頃自宅前深さ二十餘尺の井戸に飛び込み溺死したのを發見された

## 忘年會のトップ

### 七福會盛況

七十七銀行支店の取引者を中心とする七福會は平町に於ける忘年會のトップを切つて昨夜六時から住吉屋本店に懇親忘年會を開き千葉辯護士の開會の挨拶に次いで小原同支店長の挨拶あり

後九、四〇 全國ニュース  
氣象通報 番組豫告  
明日の部  
前九、一〇 料理献立「菊花饗外」成田王純  
前一〇、三〇 家庭講座  
井波清治  
後一〇、五〇 管絃樂 新交響樂團練習所より中繼  
後一、五〇 「海軍献納報告」飛行機三谷號命名式狀  
況「羽田東京國際飛行場より中繼  
後五、〇〇 受験講座「英

文和譯「佐川春水  
後六、〇〇 子供の時間  
少年講談「神馬金華山號」  
三浦樂堂  
後七、三〇 國際時局特別講座(其五)  
後八、〇〇 常磐津「釣女」  
常磐津千歳大夫外  
後八、二〇 小唄 唄夢胡  
昇 佐和 三味線胡米 替胡  
後八、五〇 忠臣藏花曆(第十一)映畫物語「高田の馬場の仇討」谷天朗 伴奏指揮田中豊明  
後九、三一 滿洲より

給一圓二錢 高卒(双葉郡某工場)  
回職を求める方  
△出前持 二十三才 高卒  
給料面談(平町某)  
△銀治職 十六才 高卒  
給料面談(磐崎村某)  
△豆腐賣子 五十八才 高卒 讀書し得 給料面談(新潟縣某)  
△女中 十七才 尋卒 給料面談(平町某)  
△女事務員 二十才 高卒 給料面談(双葉郡某)

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

平裁判たより  
石城郡湯本町大字向田三十七番地洗濯業小松義雄(三)は無免許にて十月二十四日ダイアナ空氣銃を使用し雀五羽及びモズ一羽を捕獲し狩獵法違反として罰金二十圓  
△同郡小名濱町字古港二番地漁夫平子喜勝(三)は補充兵役陸軍歩兵であるが簡閱点呼に參會せず陸軍召集規則違反として科料十圓に本日各々平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

木村科醫院  
平町五丁目橋際  
電話三〇九

平職業紹介所報告  
回人を求める方  
△商店雜役 十七才 尋卒 仕着小遣(平町某)  
△給仕女 二十迄 尋卒 月四圓(平町某食堂)  
△紡績女工 二十三迄 日

看護婦急派の求めに應じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

毎度御ひいさ  
有難う御座います  
江戸前都壽し始めました。  
是非御試食を願います。

大蒲焼 仕出し部  
折詰 田町魚 榮  
電話四二四番



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第二百一〇席 平手造酒

友子郎の斡旋

繁蔵は富五郎が借りて来た二百兩の金を一同に分配して下總香取郡佐川を立退いた。平手造酒は上州に参つて大前田英五郎の許に足を止めた。富五郎は奥州仙臺の俠客信夫の常吉の許に來た、繁蔵は大阪へ志美濃岐阜の俠客彌吉の下に一時足を止めた、スルト下總神崎の友五郎と云ふ顔役が助五郎と繁蔵との仲を圓く納めた。いよいよこの時、斡旋いたしました、此の時に助五郎が、それではお前の顔を立て公然手打はせずとも此後は佐川の繩張りには手を入らず又向ふも此方の繩張りに手を入れぬ様にすれば今迄の事は水に流して遺恨をもたぬ様にしませう、どうぞ此の事を繁蔵に話して下さいとまことに穩かな答へ、茲で友五郎が繁蔵の居る又富五郎の居る所へも人を出して此の事を知らしめたが仲裁人が神崎の友五郎異名人食ひ友五郎と云ふ、それは先年八木島に送られて一年あまり苦役をして居たが子分二人と其時はへ流されてゐた悪黨三人をつれて島を破つたと云ふ、

のやうですが、漁船に乗つて脱し海にたゞようこと十日、食料がつかたに就て此中の一人を打殺してそれを食べて飢を凌ぎ漸く此船が下總銚子の傍飯見根と云ふ所へ着き久し振で神崎に

で皆佐川に戻つて來たが、又上州に居た平手の許へも使を出して呼び寄せた然し公然和解した譯では無い互に領分は犯さぬといふ約束の下に和解した、所が繁蔵の評判はよい、助五郎が大勢引いて押して來たを小人數で追返したそれに繁蔵は生一本の博徒、助五郎の様に銚子の陣屋の御用を聞いてゐるを笠にきて横暴をする者とは違ふ、彼は眞の俠客だと賞める者が多い、それゆゑ繁蔵の賭場は何時でも繁昌する、それに引替へ助五郎の繩張りは段々と衰へ



歸つて來たがこれ以來人食ひ友五郎と云はれる、其後補へられて佐渡へ送られ此處に三年居ると將軍家の法事に就き大赦にあひ島を出た、かういふ因縁付の俠客此の人が繁蔵を日陰者にするは氣の毒とそれでいろ盡力した、かういふ譯

て行く、さあ子分が心配してどうしても繁蔵を蹴り込まねばこの衰頹を恢復する事は出来ない、なんとして繁蔵の勢力を削いだものかと乗すべき隙を窺つてゐた然し繁蔵の勢力は増すばかり、と友五郎が佐川に來て繁蔵に會ひ

友「オイ兄弟、功成り名遂げて身退くといふ事があるお前も今が眞盛り、この盛んな内に隠居したらよからう、人の盛りも花と同様永く續くものには無い、盛んになれば人に妬まれる、さうなると主の名に傷をつけることになる、よつて今此の盛りの時に繩張りを重立つた子分に付けて表を引きお主の家は旅籠屋をしてゐるから今後は十一層の暖簾を大事に守り茲の主として一生を送り盡の上で女房や子分に死水をとらして佛になつたがよからう、主はどうか思ふ」

繁蔵これ聞いて暫く考へて居たが

繁「イヤその親切は洵に有難い、實は今から三年前小見川の宿彌神社を修繕した時にそれを機會に隠居をするつもりであつたが、飯間から喧嘩を持ち込んだ故表を引く事も出来ず、俺が先きに立つて血を流す事にもなつた、と今度故郷へ歸つて來た時も繩張りを主立つた若い者につけて隠居するつもりであつたが、助五郎はまだ心の内で脇差を研いでゐるとの事又其の子分も俺を狙つてゐるとの事だ、この際に身を退くと繁蔵は助五郎に恐れ命に未練を残しそれで隠居したと云はれるも残念、そこで茲二年は表を張ることにする、どうぞ悪く思つて下さるな」

だ、しかし成るべく體を大事にして夜更けては外出をせぬ様にするが、垣固ければ犬入らずと云ふ事もある、用心が肝要だ」と忠告して友五郎は戻つた、以來繁蔵は注意して成るべく一人で外出をせぬやうにしてゐた

**質物一般**  
各種債券類  
**三井質店**  
平町南電話 四〇六  
目六番 岸川

七五三御祝  
小供靴大賣出し  
△新型實用品  
底革表 七〇より  
各種豊富  
△小供ゴム長靴 四〇より  
御進物にゼヒ。  
**大塚製靴部**  
田町・電話七七番

**上田外科醫院**  
平町 南町  
電話二二九番

米國製劑皮膚病良藥  
**レメドール**  
ヒビ、シモヤケ、ハタケヤケド、キリキズ、タムシ

子宮あたゝめぐすり  
**宮温湯**  
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙なり

丹波博士創製セキドメ  
**たんばあめ**  
うまくてセキがヨクトマル

**靈藥ムテキ**  
平町古鍛冶町一〇  
ユビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、ステラ化膿したものを切らずに癒る

**阿康藥舖**  
縣社ノ下 電話四四番

平町新川端(釜屋新宅向)  
**内科 難波 陸**  
醫學博士  
電話五〇二番

高級貨切  
**不二タクシ**  
電話 32

平新川町十九  
産婦人科 **木村病院**  
電話一六四番  
院長 木村寅次郎

産婦人科 院長 木村寅次郎  
婦人科 院長 木村寅次郎  
内臓外科 醫學士 内木宗八  
整形外科 醫學士 内木宗八  
器泌尿科

**中村齒科醫院**  
平町 鍛冶町七